

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (4月8日~4月18日分)

アクシア、SolidAudio プレーヤー 向け新ソフトウェアの提供を開始

富士ファイルムアクシアは、SolidAudio プレーヤー「AS2000」,「ZeROCORE」用の新エンコードソフトウェア「SolidAudio MusicBox1.0」の無償提供を開始した。

「SolidAudio MusicBox1.0」は、本体に同梱されている「VQ ENCODER」(AS2000 エンコードソフトウェア)「SD ENCODER」(ZeROCORE エンコードソフトウェア)とフォームが全く異なる新ソフト。

TwinVQ、MP3、WMA、WAV ファイルの再生機能、CD や各種圧縮形式からの SVQ 作成(TwinVQ)・転送機能、タグ情報を元にした音楽ファイル管理機能を搭載し、CDDB にも対応する。

これまでのソフトウェアからの大きな改善点としては、Windows 2000/XP に対応したこと、音楽 CD からスマートメディアに音楽データを転送する操作がワンクリックでできるようになったことがあげられる。

ソフトウェアはアクシアのホームページから無償でダウンロードできる。ダウンロードするには、本体のシリアル番号が必要。

(4/18)

日本レコード協会、コピーコントロール CD の推奨マークを発表

日本レコード協会は、2002年3月22日付で、「複製制御(コピーコントロール)CDの表示に関する運用基準(暫定版)」を制定・発行したことを発表した。

この運用基準(レコード協会規格に準じる規格)は、日本レコード協会会員のレコード会社がコピーコントロール CD を発売するに当たり各社の参考となるよう、消費者保護の観点から、複製制御 CD に固有な表示事項及び表示方法をまとめたもの。

コピーコントロール CD 推奨マークと共通

ステッカの表示方法、コピーコントロール及び再生制限機器の表示及び詳細表示等を規定し、代表的な複製制御技術ごとに具体的な表示例を掲載している。

具体的に Midbar 社の CDS、Macrovision 社の SafeAudio、Suncomm 社のコピーコントロール技術の名前を挙げてその特徴ごとに分類しているが、各技術の検証や推奨などは行っていない。また、レコード各社の自由な表示を制限するものではない、としている。

今回、コピーコントロール CD という呼び方に関しては、「コピー防止」でなく「コピーコントロール」としたのは、いかなるコピーもすべて禁止するのではなく、消費者の利便性も考慮して、権利者が是としたものにはデジタルコピーをも可能とした技術仕様であるから、としている。

(4/18)

NEC、バスパワー対応周辺機器 向け USB2.0 ブリッジチップを発表

NEC (NEC エレクトロニクス)は、大幅な低消費電力化を実現した PC 周辺装置向け USB 2.0-ATA/ATAPI ブリッジ LSI 「μPD720130」を製品化し、本日からサンプル出荷を開始すると発表した。

「μPD720130」は、PC の汎用シリアル・インタフェースである USB2.0 と HDD や CD-ROM、CD-R/RW などの代表的なインタフェースである ATA/ATAPI の信号を相互変換する LSI。

新製品の主な特徴は以下の通り。

1. プロセスの微細化や回路の最適化などにより、消費電力を従来製品の約 1/3 に抑えたことにより、USB からの電力給電だけで周辺機器を動作させる「Bus Powered Device」を実現可能
2. USB2.0 に準拠し、最大 480Mbps のデータ転送を実現
3. ATA/ATAPI 6 に準拠し、転送速度は UltraDMA/66(データ転送速度 66M バイト/秒)に対応

4. 新製品および評価ボードで USB 2.0 Logo を取得済み

サンプル価格は、デバイス開発キット(DDK:ET-0148)込みで 15,000 円、チップ単体では 2,000 円。2002 年 6 月以降、月産 100 万個を計画している。

(4/17)

Creative、NOMAD Jukebox に 1394 接続の新モデルを発表

Creative は、SB1394 に対応し 20GB の HDD を搭載したオーディオプレーヤー「NOMAD Jukebox 3」を発表した。

対応コーデックは MP3、WMA、WAV、S/N 比はラインアウト端子で 98dB、ヘッドホン端子で 75dB。

PC との接続インターフェースには SB1394 と USB1.1 に対応。SB1394 は同社のサウンドカード「Sound Blaster Audigy」ファミリーに搭載されている IEEE1394 互換のインターフェース。

アナログのラインイン端子と光デジタル端子も搭載し、CD や MD などからの音楽を WAV または MP3 形式にして保存することができる。

表示機能は 132 x 64 ピクセルのバックライト付 EL ディスプレイを搭載。16MB の DRAM バッファにより、7 分間の音飛び防止機能を実現している。

電源はリチウムイオンバッテリーで、11 時間の連続再生時間が可能となっている。また、セカンドバッテリーベイが用意されており、もう一本のバッテリーを搭載することで 22 時間の連続再生を達成する。

また、大容量のデバイスに収められた大量の楽曲を素早く検索、選択できるようにスクロールホイールを採用、楽曲やアーティストの頭文字を指定しての検索を行うことができる。

さらに、EAX Audio Technology を搭載、先進的な音響空間効果を演出する。

付属ソフトウェアは、楽曲のエンコード、再生、管理、転送を行う「Creative PlayCenter 3」、オーディオ形式以外のファイルを Jukebox に転送できる「Creative File Manager」、PC 内と Jukebox の楽曲ファイルの同期を行う「AudioSync」。

大きさは 123 mm x 130 mm x 35 mm の 289g (バッテリー除く)、ファームウェアのアップグレードも可能になっている。筐体はフェイスプレートに対応し、オプションとして赤外線リモコン、FM チューナー & マイク付液晶ディスプレイリモコン、カーアダプターキット、ドッキングステーション、レーザーケースなどが用意されている。

価格は \$399.99。HDD 容量 40GB モデルも \$499.99 で来月発売予定としている。

(4/17)

スピードネット、集合住宅向け無線ブロードバンドサービスを発表

スピードネットは、ADSL の利用が出来ない環境の集合住宅や企業の寮などにおいて上り下りとも最大 1.5Mbps の無線アクセスでのブロードバンド対応を可能にする「集合住宅まるごと無線ソリューション」の販売を開始すると発表した。

このサービスは、「光収容であり ADSL 化ができない」「電話交換局から遠い」「電話線がインターフォンやガス・水道のメーター検針に使われている」などの理由で「電話回線を利用した ADSL は不可」の集合住宅の建物の屋上などに「無線中継機」を設置することで、その集合住宅や寮全体を無線でカバーするもの。

対象はサービスエリア内で初期の加入希望者数目安が 30 戸以上の集合住宅または企業の寮。

なお導入のメリットとして次のような点を挙げている。

- 1) 無線中継機等の設備は原則としてスピードネットが負担管理、各戸の料金は従来の当社サービスと同様
- 2) 大規模なファイバ敷設工事や引き込み

工事は不要、無線中継設備のランニングコストも原則不要

- 3) 各戸毎に今すぐ使いたい方、今は使わない方それぞれの選択が可能
- 4) 綿密な事前調査により最も適切な位置に無線中継機を設置
- 5) 加入者増加に伴う通信速度減速時の基地局増設にも対応

(4/16)

BIGLOBE、東京電力の FTTH サービスに対応したコースを提供

BIGLOBE では、東京電力が提供する「TEPCO ひかり」をアクセス回線とする「TEPCO ひかり」コースを 7 月より提供開始する予定とし、事前申込受付を、2002 年 5 月 8 日から開始すると発表した。

このサービスは、東京電力が提供する ISP 向け光ファイバ「TEPCO ひかり」をアクセス回線として使用するもの。上り、下りとも最大 100Mbps のインターネットアクセスを実現する。

提供エリアは、東京都目黒区、大田区、世田谷区の一部から開始。東京電力の「TEPCO ひかり」サービス提供エリアに合わせて拡大していく予定としている。

(4/16)

エイベックス、5 月発売分のコピーコントロール CD を発表

エイベックスは、2002 年 5 月にも 30 タイトルのコピーコントロール CD をリリースすることを発表した。

エイベックスでは、2002 年 3 月 13 日より、国内のレコードメーカーでは初めて 3 タイトルのコピーコントロール CD をリリースしており、4 月にも 6 タイトルのリリースを発表している。

エイベックスでは、5 月にリリースされる CD の総数は 39 アイテムだが、この中で技術的に CCCD とすることができない CD-EXTRA 仕様のもの等を除き、ほぼ全てのアイテムを CCCD とするとしている。

なお、採用技術はこれまでと変更ない。

(4/16)

SunnComm、PtoP 機能付きコピープロテクト CD 技術を発表

SunnComm は、コピープロテクト CD 技術「CD3」の新たな機能として、PtoP の音楽交換に対応した「PromoPlay」を発表した。

「Alchemy Au1100 プロセッサ」は、AMD が 2002 年 2 月に買収したアルケミーセミコンダクター社の製品。

PromoPlay は、海賊コピーを防ぎながら PtoP のマーケティング効果をコンテンツホルダーに提供する。ユーザーは SunnComm のコピープロテクト CD に収められている楽曲を合法的に友人に贈ることができる。

PromoPlay に対応している楽曲は何度かのマウスのクリックだけでコピーを e メールに添付することができる。メールを受け取ったユーザーは予め設定された回数もしくは期間内で添付されてきた楽曲を再生することができる。

期間や回数が過ぎた場合、メールを受け取ったユーザーは当該楽曲の購入を促され、承諾することで制限のない楽曲を手に入れることができる。

PromoPlay は Windows Media Technologies に対応しており、利用に当たって Windows Media Player 以外のソフトウェアは必要としない。

PromoPlay を搭載した「CD3」技術のリリース時期については明らかにされていない。

(4/15)

I-O DATA、著作権保護機能付きカードリーダーを発表

アイ・オー・データ機器は、SD メモリーカードとマルチメディアカードの 2 種類の記憶メディアを 1 スロットで読み書きできる、USB 接続のメモリーカードリーダー/ライター「USB-SDRW」を発表した。

USB-SDRW は、OS 標準のドライバで動作し、USB ポートに接続してすぐに画像データや動画データの読み書きができる。USB ポートより電源供給を受けるバスパワー駆動対応のため、AC アダプタ等の外部電源は不要となっている。

メモリーカードの容量は、SD メモリーカードで最大 512MB、マルチメディアカードで最大 128MB までサポートしている。

また、SD メモリーカードの著作権保護機能に対応しており、標準添付のソフトウェア「SD-Jukebox Ver2.4」（松下電器製）により、音楽コンテンツの「チェックイン」「チェックアウト」が可能となっている。J-PHONE「J-SH51」にも対応する。

標準価格は 5,800 円、2002 年 4 月下旬発売予定となっている。

(4/15)

インテル、携帯型 EMD プレーヤーの製造を終了

インテルは、2002 年 3 月 29 日をもって携帯型 EMD プレーヤー「Pocket Concert Audio Player」の製造および出荷を終了したと発表した。

電話および E メールによる製品サポートは 2003 年 9 月 30 日まで継続される。

インテルでは、EMD プレーヤーだけでなく、PC Camera 製品、Play 製品も同様に製造の終了とサポート終了予定をアナウンスした。

この理由について、インテルは半導体製品の専門性と市場での重要性を認識し、半導体ビジネスに注力することを決定したとしている。

(4/12)

NTT 東日本、B フレッツに新メニューを追加

NTT 東日本は、FTTH サービス「B フレッツ」にシェアアクセス型の 100Mbps メニュー「ニューファミリータイプ」を 2002 年 6

月 1 日から提供開始すると発表した。

「ニューファミリータイプ」は、10Mbps メニュー「ファミリータイプ」の高速版。料金は初期費用 27,900 円、月額 5,800 円で接続台数は 5 台まで。別途、回線終端装置の利用料金として月額 900 円が必要となる。

提供エリアは、東京都千代田区、港区、新宿区、文京区、豊田区、江東区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、荒川区、板橋区、練馬区、葛飾区、江戸川区、武蔵野市、三鷹市、府中市、狛江市の各一部エリアから、順次提供を開始する。

(4/12)

@nifty、最大 100Mbps の FTTH サービスを提供開始

ニフティは、同社の運営するインターネットサービス「@nifty (アット・ニフティ)」において、光ファイバ回線を使用した最大 100Mbps のインターネット接続サービス「アット・ニフティ光接続サービス (TEPCO / ホーム)」の申込受付を、2002 年 4 月 24 日(水)から開始すると発表した。

このサービスは、東京電力が提供する ISP 向け光ファイバ「TEPCO ひかり」をアクセス回線として使用するもの。上り、下りとも最大 100Mbps のインターネットアクセスを実現する。

提供エリアは、東京都目黒区、大田区、世田谷区の一部から開始。東京電力の「TEPCO ひかり」サービス提供エリアに合わせて拡大していく予定としている。

(4/11)

平成電電、ADSL 事業に参入

第一種電気通信事業を展開する平成電電は、2002 年 8 月より ADSL 事業に新規参入すると発表した。

平成電電の ADSL 事業は、高速大容量の通信基盤を人口 5 万人以上の主要都市を中心に約 500 ヶ所構築し、プロバイダーなどに対して月額 1,200 円で提供する。

パートナーとなるプロバイダーの価格設定によるが、エンドユーザーは月額 2,000 円程度で平成電電の ADSL を利用できるとしている。また、固定 IP 付の法人向けサービスも予定している。

平成電電は 2001 年 12 月より日本全国でマイラインのすべての通話区分の提供を始めたフルキャリア。音声伝送サービス、ADSL 事業の参入後、ブロードバンドサービス、モバイルサービスも展開するとしている。

(4/11)

ファイル交換サービス運営会社に差し止め命令

東京地方裁判所は、インターネット上におけるファイル交換サービス「ファイルログ」を提供する日本エム・エム・オーに対し、日本レコード協会会員等 19 社が権利を有する音楽 CD から作成された MP3 ファイルの内容等を示すファイル情報を、「ファイルログ」利用者に提供してはならないとの差し止め命令を下した。

これは、日本レコード協会会員等 19 社が、2002 年 1 月 29 日、日本エム・エム・オー社に対し、市販の音楽 CD から作成された MP3 ファイルをサービスの対象としないことを求めていた仮処分申請に対するもの。

裁判所は、日本エム・エム・オーが音楽 CD の送信可能化の主体であり、「ファイルログ」の利用者と共に送信可能化権の侵害行為を行っていると認定した。

日本レコード協会は、仮処分申請から 2 カ月あまりという短期間の審理により下された命令を高く評価できるとしている。

(4/10)

有線ブロード、3 月末時点の進捗を発表

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2002 年 3 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、Web でサービスの申込みを

行なった登録数が 72,433 件、工事が確定している契約者数が 14,811 件、回線が開通している取り付け数が 7,319 件となり、取り付け数がひと月で 1,500 件と大幅な伸びを見せた。

そのほかの数字を 2 月末時点のもの比べると、登録数で約 2,000 件、契約者数で約 1,800 件の増加となっており、伸び方は緩やかになってきている。

なお、3 月には展開エリアが 51 から 63 に増え、ユーザーカバー数も 100 万の大台を突破した。

(4/10)

バイオニア、X-HD1 に NetMD 機器対応機能を追加

バイオニアは、CD プレーヤーとハードディスク、マジックゲートメモリスティックスロットを搭載した「HDD DIGITAL JUKEBOX」X-HD1 に Net MD 対応機種に接続できる機能を追加する仕様変更を実施すると発表した。

今回の仕様変更は、X-HD1 のポータブルリンク端子にソニー製 Net MD ポータブル「MZ-N1」とシャープ製 MD ポータブルレコーダー「IM-MT880」を接続できるようになるというもの。これにより、X-HD1 に内蔵されたハードディスクからこれらの NetMD 機器へ音楽を録音することが可能になる。

この機能の追加を希望するユーザーは、バイオニアのカスタマーサポートセンターまで連絡をする必要がある。追って機能追加用のプログラム CD-ROM ディスクが送付され、同封の説明書に従って操作することで機能の追加ができる。

(4/10)

米 Liquid Audio、音楽配信ソリューション「Distra」を発表

米 Liquid Audio は、ハードウェアとソフトウェアをセットにしたオールインワン音楽配信サーバソリューション「Distra」を発表した。

Distra は、音楽配信に特化したコンテンツの準備と配信を行う Web ベースのアプリケーションをインストールしたアプライアンスサーバ。複数のオーディオフォーマットをサポートし、Liquid Audio の DRM を利用できる。

エンドユーザーは Liquid Player を利用することで、ストリーミングによる楽曲の試聴、ダウンロード、管理、許諾情報に基づいた転送などを行うことができる。

Liquid Audio では、Distra は 20 分でセキュアな音楽配信システムのセットアップが完了するため、自社内に設置することも可能であり、これまでの FTP ベースのファイル転送を使う高価なシステムを置き換えるものとしている。

(4/10)

米 Real、デジタルコンテンツ配信ソリューションを発表

米 RealNetworks は、デジタルコンテンツ配信事業者に向けたソリューション「RBN Managed Subscription Service」を発表した。

これは、Real が 2002 年 3 月より開始した「RealOne SuperPass」サービスをベースに開発しており、ペーパービュー、レンタル、サブスクリプションといったビジネス形態に対応する。

具体的には、以下の機能を備えるソフトウェアとサービスを提供する。

- ・会員登録 / 管理
- ・不正アクセスを制限するセキュリティシステム
- ・課金 / 請求 / 決済処理
- ・顧客管理システム
- ・エンドユーザーサポート

また、Real のコンテンツ配信ネットワーク (CDN) である RBN (Real Broadcast Network) を利用したコンテンツホスティングも行う。これにより、コンテンツ配信事業者は自前のインフラを構築する必要がなくなる。

このソリューションを利用して、SoapCity

が SoapCity Radio を、Campus Crusade for Christ (CCCI) と Cutting Edge International が Global Pastors Network を、Post Time Technologies が RaceReplays.com というサービスを開始する予定としている。

(4/10)

3 月末の DSL 加入者数は 240 万弱

総務省から 2002 年 3 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 2,378,795 でこれは前月末の 14.6% 増。増加率は前月から 1.6% 減。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 967,686、他事業者経由の DSL 加入者が残りの 1,411,109 で、NTT 東西のシェアは 40.7% と 0.7% のプラス。

地域別では NTT 西日本管轄エリアが他事業者経由も含めて 996,134 と、100 万目前と前月比 15.5% の伸び率を見せており、東西の地域格差が若干縮まったことになる。

(4/9)

米 IBM、EMMS の新バージョンを発表

米 IBM は、デジタル著作権管理 (DRM) システム「Electronic Media Management (EMMS)」のバージョン 2 を発表した。2002 年 4 月 30 日より、全世界でリリース予定。

これまで EMMS は、音楽ファイルのみの対応だったが、このバージョン 2 ではテキストや画像、ビデオ、ストリーミングメディアなど、さまざまなファイル形式に対応した。

EMMS は、IBM のサーバ製品 IBM VideoCharger for streaming video、DB2 データベース、WebSphere ファミリーなどミドルウェアコンポーネント製品群と IBM Content Manager から構成される。

この新しいプラットフォームでは、XML や Java などのオープン標準を採用し、アプリケーションが自由かつ安全にデータを交換することができる。こうしたオープン標準への対応により、顧客が既存のシステムに EMMS をシームレスに統合できるとしてい

る。

(4/9)

デジタルガレージ、デジタルコンテンツ配信パッケージを発表

デジタルガレージは、ブロードバンド向けコンテンツ管理及びコンテンツ販売用ソフトウェア Smoothy (スムージー) を公開し、Smoothy Media Manager Version 1.0 を 2002 年 4 月 8 日に Smoothy Commerce Server Version 1.0 を 2002 年 4 月 22 日にリリースすることを発表した。

Smoothy は、コンテンツ配信事業者、サービスプロバイダ、コンテンツホルダー向けのプロダクトファミリーの名称。コンテンツを効率的に管理するための Smoothy Media Manager と、コンテンツを販売するための Smoothy Commerce Server で構成される。

Smoothy Media Manager は、これまで別々に管理されていたマルチメディアファイルとメタデータの管理を統合、さらにメタデータの項目を自由に設定可能にし、コンテンツプロバイダ毎に異なる著作権情報等コンテンツに関する付帯情報を柔軟に管理することができる。

Smoothy Commerce Server は、Microsoft の DRM(Digital Rights Management)を利用し、著作権を保護した形でマルチメディアデータをインターネット上で販売することを可能にする。

またデジタルガレージは、データベースベンダーとしてサイバース、CDN (コンテンツ・デリバリー・ネットワーク) 製品ベンダーとしてインクトミ ジャパン、日本ネットワークアライアンス、ハードウェアプラットフォームとしてサン・マイクロシステムズの各社と協力し、Smoothy を中心としたブロードバンドメディアプラットフォームの提供も行っていくとしている。

(4/9)

モバイルブロードバンド協会、MBA 標準草案を公開

モバイルブロードバンド協会 (MBA) は、

MBA 標準草案として MIS プロトコル仕様書と MIS モバイル IP 仕様書を公開した。

MBA は、無線 LAN を使った公衆インターネット接続サービス、いわゆるホットスポットサービスの普及を目指し、モバイルインターネットサービス (MIS) などが中心となって設立した業界団体。通信キャリアや機器メーカーなど、56 の企業 / 団体が加盟している。

MBA 標準草案は、モバイルブロードバンド協会内のプロトコル分科会が、会員から提案された技術文書を審査し、標準化プロセスの一段階として公開するもの。

今回公開した MIS プロトコル仕様書及び MIS モバイル IP 仕様書は、会員企業である MIS より提案されたもの。

この MBA 標準草案は、利用者の識別と暗号化技術によるセキュリティの向上、ハンドオーバーによる移動中の通信実現、と言う他にはない優れた特長を有しているとしている。

(4/9)

日本テレコム、JR 東日本との無線 LAN 接続実験の参加 ISP を追加

東日本旅客鉄道 (JR 東日本) と日本テレコムは、2001 年 9 月より東京駅で、また 2002 年 2 月より新宿、渋谷、上野、品川の各駅において実施している「無線による、駅でのインターネット接続実験」の接続可能プロバイダーを大幅に追加する実験の拡大を発表した。

具体的には、2002 年 4 月 10 日 (水) より、これまでの ODN 会員、JENS SpinNet 会員に加え、Panasonic hi-ho 会員もモニターとして利用できるようになる。

また、DTI (ドリーム・トレイン・インターネット) 会員も、2002 年 4 月下旬以降対応予定となっている。

さらに、@nifty (ニフティ) 会員も、対応予定だが、2002 年 4 月下旬詳細発表予定となっている。

両社では、今後とも、2002 年 7 月 31 日 (水) までの実験期間中、駅での無線高速インターネット接続実証実験の拡充に努めていくとしている。

(4/8)

AMD、携帯機器向けプロセッサ「Alchemy Au1100」を発表

日本 AMD は、ウェブアプライアンスやテレマティクス、PDA などの PC 以外のモバイル・インターネット・アプライアンス市場に向けたプロセッサ「Alchemy Au1100 プロセッサ」を発表した。

「Alchemy Au1100 プロセッサ」は、AMD が 2002 年 2 月に買収したアルケミーセミコンダクター社の製品。

新製品の主な特徴は以下の通り。

- ・LCD コントローラを内蔵 (高品質なビデオ機能を提供)
- ・従来製品 (Au1000) と比較し、消費電力を最大 50% 低減
- ・2 つのセキュア・デジタル (SD) コントローラを追加
- ・USB ホスト/デバイスを内蔵 (プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器の接続が可能)
- ・10/100 イーサネット・インターフェースを内蔵 (ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) に接続可能)
- ・IrDA 赤外線通信 (デバイス間のワイヤレスデータコントロールが可能)
- ・AC'97 を装備 (優れたオーディオ機能を実現)

Alchemy Au1100 プロセッサは、Windows CE.NET、Linux および VxWorks を含む様々なオペレーティング・システムを実行するように設計されており、駆動周波数と消費電力は、333MHz モデルで 200mW 以下、400MHz モデルで 250mW、500MHz モデルで 500mW までとなっている。

サンプル出荷は既に開始されており、400MHz バージョン Alchemy Au1100 プロセッサの 10,000 個ロット時単価は、3,980 円。

(4/8)

NEC、ノートパソコン向け USB2.0 対応コントローラチップ を発表

NEC (NEC エレクトロニクス) は、パソコンの汎用シリアル・インタフェースである USB2.0 に対応し、世界で初めて EHCI 1.0 に準拠した次世代 USB2.0 ホスト・コントローラ LSI「μPD720101」を開発したと発表した。

NEC は、2001 年 3 月に世界初の USB2.0 ホスト・コントローラの量産を開始し、2002 年 3 月までの 1 年間で累計 400 万個を出荷している。今回の製品「μPD720101」は、低消費電力かつ高速のデータ転送を必要とするノートパソコン市場向けに製品化したもの。

新製品の主な特徴は以下の通り。

1.USB 周辺機器未接続時および PC スタンバイ時の消費電力を従来の 10 分の 1 以下となる 11mA、USB2.0 周辺機器使用時(フル接続時)の消費電力を従来の約 2.5 分の 1 となる 220mA と大幅に削減

2.USB2.0 ホスト・コントローラの標準仕様である EHCI(Enhanced Host Controller Interface Specification) Rev1.0 に準拠し、従来よりデータ転送レートを 20%向上

3.144 ピン QFP/FPBGA パッケージを採用し、実装面積を当社従来製品比約 30%削減

サンプル出荷は 2002 年 4 月開始予定。サンプル価格が 5000 円/個となっており、量産開始時期は本年 7 月を予定。なお、NEC は 2002 年度に新製品を含めた USB2.0 対応ホスト・コントローラ LSI を 1000 万個出荷する計画。

(4/8)

EMD Magazine 第 18 号

発行 2002 年 4 月 22 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース